



**BREW**

**Conical Burr  
Coffee Grinder**

タイマー式コーヒーグラインダー

INSTRUCTION MANUAL  
取扱説明書



# Congratulations on your new OXO Brew appliance!

OXO BREW 製品をお買い求めいただきありがとうございます！

OXOウェブサイトでお客様の製品登録をされることをおすすめします。

<http://www.oxojapan.com/registration>

製品登録をされなくても保証は有効ですが、アップデートのご案内などのため、登録をおすすめします。  
お客様の同意なく、商品登録、必要な情報の共有の範囲を越えて利用することはいたしません。

ご質問、修理依頼、保証については輸入代理店 株式会社コントラストまでご連絡ください。保証期間内に製品の  
トラブルが生じた場合は販売店へ返品されるのではなく、株式会社コントラストにご連絡ください。  
(お問い合わせ先につきましてはP15をご覧ください。)

本グラインダーは  
品質確認のため、  
出荷前にテスト使用  
させていただきます。

そのため、本機内部にコーヒーの  
粉が残っている可能性も  
ございますので、あらかじめ  
ご了承ください。

イントロダクション.....	2	お手入れ方法.....	10
安全のために.....	3	長くお使いいただくために.....	11
各部の名称.....	6	トラブルシューティング.....	12
ご使用になる前に.....	7	仕様／保証／登録／お問い合わせ先.....	14
ご使用方法.....	9		

# **IMPORTANT SAFEGUARDS**

## **安全上の重要事項**

### **すべての説明をお読みください。**

電気製品をご使用の際は、火事や電気ショック、人体のケガや損傷のリスクを低減するため、以下の記載を含む安全のための基本的な注意事項を必ずお守りください。

- ・ 本取扱説明書の記載事項をすべてお読みください。本取扱説明書に記載外の方法では使用しないでください。
- ・ 梱包材(段ボール、プラスチック、袋など)は開封後破棄するか、お子様の手の届かないところで保管してください(ケガや窒息の防止)。
- ・ 電気ショック防止のため電源プラグ、電源コードおよびグラインダーは決して水またはその他の液体に浸さないでください。
- ・ お子様だけでのご使用はお避けください。
- ・ 本機は常に、乾いた水平面に置いてご使用ください。
- ・ 作動中の振動により機器が移動する可能性があるため、落下を防ぐためにも、椅子やテーブルなどの端でのご使用はお避けください。
- ・ ガス台やIH調理器、コンロなどの熱源の上およびその近くに本機を置かないでください。
- ・ 電源コードが、テーブルやカウンターの端や角にかかる、熱源に触れる、結び目がある状態、タコ足配線ではご使用にならないでください。
- ・ 電源プラグはしっかり根元まで差し込み、アース線を接続してください。
- ・ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをすることは絶対にお避けください。
- ・ 電源プラグ付近にほこりやごみがたまらないよう、定期的にお手入れしてください。
- ・ ご使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなる場合は、直ちにご使用を中止してください。
- ・ 動作中の部品には触らないでください。

- ・ ご使用前にホッパー内に異物がないかご確認ください。
- ・ グライNDER内にはコーヒー豆またはグライNDERクリーナー以外の物(特に液体)は入れないでください。
- ・ ご使用にならない時、部品の着脱時、清掃などお手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。
- ・ 必ずホッパーのフタが正しくセットされた状態でご使用ください。
- ・ OXOおよび輸入元が販売する、または推奨するもの以外の付属品のご使用は火災や電気ショック、ケガなどの原因となる可能性があります。
- ・ ご使用中(電源プラグがコンセントに差さっている状態)の本機を無人の状態では置しないでください。
- ・ 小さなお子様だけでのご使用は想定しておりません。小さなお子様が本機で遊ばないようにご注意ください。
- ・ 電源プラグ、電源コード、刃や機器全体に損傷がないか定期的に確認してください。損傷が見られたり、不具合がある際は直ちにご使用を中止し、P15のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ 本製品はご家庭でのご使用に限ります。本取扱説明書に記載外の目的でのご使用はできません。
- ・ 屋外や、移動中の車、ボートなどでのご使用はお避けください。

### 警告! 電気ショック

ボルテージの異なる電源や、本機底部に記載されている仕様以外の電源はご使用にならないでください。アダプターはご使用いただけません。タコ足配線などもお避けください。アースを接続してご使用ください。

### 電源コードの長さについて

絡まりやコードにつまづく危険性を減らすため、本機は短めのコードを採用しています。もし、長めのコードが入用の場合は認証をうけた延長コードをご使用ください。延長コードの電気容量は本機と同じ、またはそれ以上のものであることをご確認ください。延長コードご使用の際は、カウンターやテーブルから垂れ下がってお子様がひっぱったり、つまづいたりする危険性がないよう十分な注意のもとご使用ください。火災の原因となる過電流を防ぐため、高ワットの機器を本機と同回路でご使用にならないでください。

# SAVE THESE INSTRUCTIONS

本取扱説明書は必ず保管してください

 警告 
<p>100V以外の電源使用禁止 アダプター使用禁止</p> <p>本警告をお守りいただけない場合、 致死の事故、火災、電気ショックなど の可能性があります。</p>

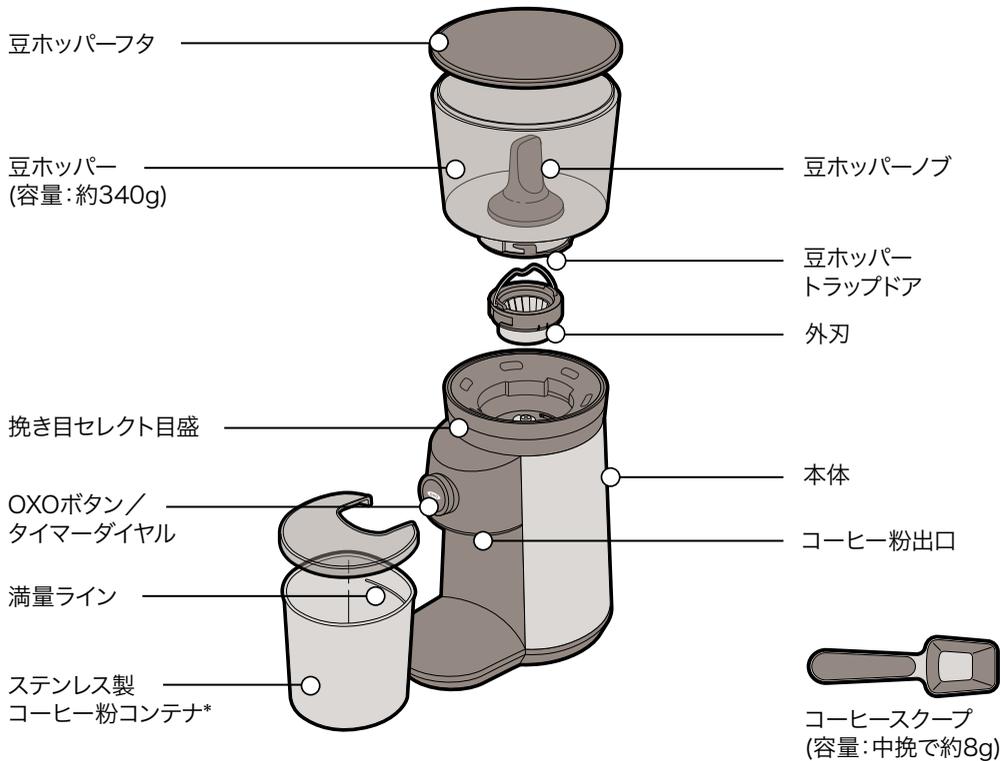
 このシンボルマークは操作・取り扱い上重要な注意事項を説明しています。

 警告 
<p>火災や電気ショックの恐れ 開けないでください</p> <p>火災や電気ショックのリスク低減のため、本機を 分解しないでください。内部に消費者の方が取扱 可能な部品は入っていません。 資格のある技術者のみ修理可能です。</p>

 このシンボルマークは火災や電気ショックの恐れに関する注意事項を説明しています。

# Meet Your Grinder

## 各部の名称



\*コーヒー粉コンテナをステンレス製にすることで、挽いた粉の飛び散りや貼りつきの原因となる静電気の滞留を軽減しました。

# Before You Begin

## ご使用になる前に

**1** すべての梱包材、ラベルなどを取り除く

**2** すべてのパーツをきれいにする

お手入れについて詳しくはP10をご参照ください。

 機器の表面を傷つける恐れがあるため、研磨剤(入りのスポンジ類)や刺激の強い化学薬品、スプレー式の化学薬品クリーナーなどをご使用にならないでください。コーヒースクープ以外は食器洗い乾燥機のご使用は避けください。

**3** コーヒー粉コンテナをベースにセットする

ご使用前に、コーヒー粉コンテナがしっかり本体にセットされているか確認してください。

**4** 電源プラグをコンセントに差し込む

このとき、アース線も接続してください。アース線を接続しなくても機器は正常に動作しますが、静電気の消散効果が半減します。

## 挽き時間の決め方

どんな抽出方法で、どのような濃さで、どのくらいの量のコーヒーを淹れたいか…正解は千差万別。実際にご使用の豆でご自分のベストを探し出してみましょう。

### おすすめの挽き目設定

抽出方法			
	エスプレッソ	ハンドドリップ/ドリップ	フレンチプレス/コールドブリュー
おすすめの挽き目/グラインダー設定	細挽 / 1~5	中挽 / 6~10	粗挽 / 11~15

※理想的な挽き目は、どのような抽出方法でコーヒーをいれるか、豆のタイプと焙煎の度合、鮮度などの要素によって決まります。さまざまな設定と抽出をお試しいただき、ご自身の理想に最も近い設定を見つけてください。もし、苦すぎると感じる場合は粗めに、弱すぎると感じる場合は細かめに調整します。

## 挽粉量の目安:中煎り/挽き目設定8の場合

秒数	挽粉量	秒数	挽粉量
5	11 - 12 g	20	45 - 47 g
10	20 - 21 g	25	60 - 62 g
15	33 - 34 g	30	75 - 76 g

※挽粉量は豆のタイプ(油分の量、焙煎度合)や挽き目によっても変わりますのでご注意ください。スケールや同梱のコーヒースクープを利用して挽粉を量ってください。コーヒースクープは中挽のすりきり1杯でおよそ8g、ドリップコーヒー1杯分にちょうど良い量となります。



### 警告



- ・ コーヒー粉がコンテナの満量ラインを絶対に超えないようご注意ください。堆積した粉がコーヒー粉出口を逆流し、詰まりやモーターの焼け付きの原因となります。
- ・ タイマーが止まる前にホッパー内の豆がなくなった場合、モーターは空のまま回転し続けます。その際はOXOボタンを押して動作を停止させてください。
- ・ オーバーヒートを避けるため、グラインディング毎に最低でも2分以上のインターバルを設けてください。10分以内に累計5分を超えるグラインディングを行った場合、グラインダーは動作を停止し30分のクールダウンタイムに入ります。その間はグラインダーが使用できません。30分が経過すると再度ご使用いただけます。

- ・ グラインディング中にコーヒー粉コンテナをさわったり本体を揺すったりしないでください。
- ・ コーヒー粉がコンテナの満量ラインを絶対に超えないようグラインディング中は目を離さないようご注意ください。満量ラインに到達するまでの時間は挽き目や豆のタイプによって異なります。
- ・ 付属のコーヒー粉コンテナ以外にもご自身がお持ちの容器や、ポルタフィルターに直接挽き粉を落とすことも可能です。
- ・ 深煎りで油分の多い豆の場合、コーヒー粉出口が詰まりやすくなります。もし詰まってしまったらP10お手入れの項を参照し詰まりを解消してください。

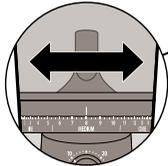
# Using Your Grinder

## ご使用方法

### 1 挽き目を選択する

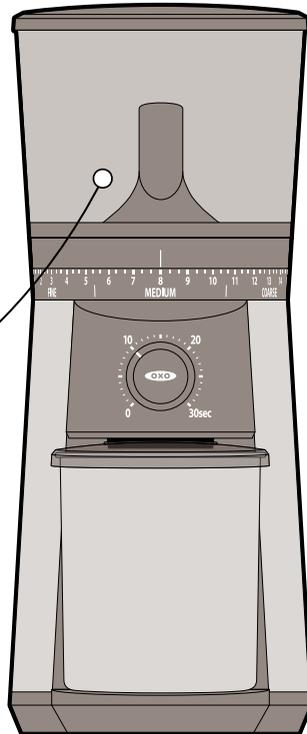
豆ホッパーの上部を持ってゆっくりと回し、印がお好みの挽き目位置にくるよう調整します。(1=細かい、15=粗い)マイクログセッティング(目盛り間指定)により、更なる微調整も可能です。(全43段階)

※故障(詰まり)を防ぐため、挽き目調整はモーターが動いている間に行います。豆ポッパーおよび刃の部分が完全に空の状態であれば、動作中であっても調整可能です。



### 2 豆ホッパーに コーヒー豆を入れる

豆ホッパーのフタを外してコーヒー豆を入れ、フタをしてください。コーヒー粉コンテナがしっかり本体にセットされているか確認してください。



### 3 挽き時間を選択する

タイマーダイヤルを回してお好みの挽き時間を設定します(約0-30秒)。はじめて使用する場合は、まずタイマーを“10”に合わせて挽き、重さを計量してみるか、同梱のコーヒースクープでどの程度の量になるか確認して調整していきます。一度選択された秒数は次回以降も反映されますので、設定しなおす必要はありません。※タイマーの数字は正確な秒数を表すものではありません。目安としてお考えください。

### 4 OXOボタンを押して グラインディングを開始する

セットしたタイマーに到達すると自動で停止します。途中で止めたい場合は再度OXOボタンを押します。

**!** コーヒー粉がコンテナの満量ラインを絶対に超えないようご注意ください。堆積した粉がコーヒー粉出口を逆流し、詰まりやモーターの焼け付きの原因となります。

# Cleaning Your Grinder

## お手入れ方法

**1** 清掃を行う前に、刃やコーヒー粉出口に残ったコーヒー豆や粉をなるべく排出するため、ホッパーが空の状態でタイマーを“10”に合わせてグラインダーを起動させます。コーヒースクープ以外は食器洗い乾燥機のご使用はできません。

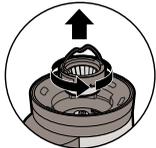
**2** 電源コードをコンセントから抜きます(必須)。  
(アース線は接続したままでかまいません)

 ホッパーを外す際は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

**3** ホッパーのフタを外し、片方の手でホッパーを押さえて、もう片方の手でホッパー内部のノブをカチッと音がするまで反時計回りに回したら、垂直に持ち上げて本体から外します。

※ノブを反時計まわりにまわしてホッパーを引き抜くと、ホッパー底部のトラップドアが閉じて豆のこぼれおちを防ぐ仕組みになっています。(完全閉鎖ではないため細かく割れた豆はおちる可能性があります)

※グラインダー本体から外している間は必ずホッパーノブがロック解除位置にある(=トラップドアが閉じている)ようにしてください。トラップドアを閉じておくことで豆や粉の無用な飛び散りを防ぎ、豆の入れ替え作業が容易になります。



**4** 刃の間に残っている豆を慎重に取り除きます。

**5** 外刃の取り外し: 外刃のハンドルを持ち上げて反時計回りに回転させた後、ハンドルをまっすぐ上に上げ外刃を取り外します。  
※取り外しができるのは外刃のみで、挽き目を15に設定しておくことで作業が容易になります。

**6** 外刃、内刃、コーヒー粉出口を小さなブラシで丁寧に清掃します。刃は濡らさないご注意ください。

**7** 清掃後の外刃の取り付け: 外刃のインデントを内刃内側のタブに合わせます。外刃をグラインダー内にまっすぐ差し込んでカチッと音がするまで時計回りに回転させます。

※刃の周囲にコーヒー豆などが残っていると刃が正しい位置に戻りません。

**8** 確実に取り付けられたことを確認するため、外刃のハンドルをまっすぐ持ち上げてみます。刃が持ち上がってこなければ適切に取り付けられています。

**9** 中性洗剤を使用してコーヒー粉コンテナ、ホッパーとそれぞれのフタをぬるま湯で洗浄してすすぎ、水分を確実に拭き取ります。コーヒースクープ以外は食器洗い乾燥機のご使用はできません。

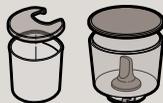
**10** コーヒー粉出口やベース部のコーヒー粉をすべてきれいにします。

**11** ホッパーを本体に取り付けます。ホッパー内部のノブをつかんでホッパーを本体にむかって垂直におろし、ホッパー底部のツメ(タブ)と本体側の切れ込みを合わせます。片方の手でホッパーを押さえ、もう片方の手でノブを優しく押し下げながら時計回りに回します。(=ホッパーロック状態)

**12** コーヒー粉コンテナをコーヒー粉出口の下へセットします。

**13** グラインダーの外装全体を柔らかい布で水拭きします。機器の表面を傷つける恐れがあるため、研磨剤(入りのスポンジ類)や刺激の強い化学薬品などはご使用にならないでください。

ホッパーとコーヒー粉コンテナは  
手洗いしてください。すすいだ後は  
しっかり乾燥させてください。



コーヒースクープは食器洗い乾燥  
機(低温設定)がご使用いただけ  
ます。



**!** 機器の表面を傷つける恐れがあるため、研磨剤(入りのスポンジ類)や刺激の強い化学薬品、スプレー式の化学薬品クリーナーなどをご使用にならないでください。コーヒースクープ以外は食器洗い乾燥機のご使用はお避けください。

## Caring for Your Grinder

### 長くお使いいただくために

#### インターバルを設ける

オーバーヒートを避けるため、1回のご使用毎に最低でも2分以上のインターバルを設けてください。10分以内に累計5分を超えるグラインディングを行った場合、グラインダーは動作を停止し30分のクールダウンタイムに入ります。その間はグラインダーが使用できません。30分が経過すると再度ご使用いただけます。

#### コーヒー粉出口をきれいに保つ

頻繁にご使用にならない場合は、コーヒー粉出口に前回挽いた古い粉が残っていないか毎回必ず確認します。古い粉が残っていると新たに挽いて淹れるコーヒーの味に悪影響を及ぼします。ホッパーに新たな豆を入れる前にタイマーを"10"にセットしてグラインダーを作動させ、出てきた粉は廃棄します。これで新たな豆を挽く準備が整いました。

#### 新鮮な豆を使用する

新鮮な豆を使いましょう。古い豆、乾燥した豆は静電気を発生させます。過度な静電気はグラインダー壁面にほこりが貼りつく原因となります。

コーヒー豆以外のものは挽かないでください。

**!** コーヒー粉がコンテナの満量ラインを絶対を超えないようご注意ください。堆積した粉がコーヒー粉出口を逆流し、詰まりやモーターの焼け付きの原因となります。

# Troubleshooting

## トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解決方法
OXOボタンを押しても動作が始まらない	電源プラグが抜けている	電源プラグを100Vのコンセントに入れてください。
	豆ホッパーが正しくセットされていない	もう一度丁寧にセットしなおし、ホッパーが正しくセットされたことを確認してください。
	オーバーヒート状態	機器冷却のため30分間動作を停止しています。30分後再度ご使用いただけます。
動作中にグラインダーの回転が止まった	刃の中に異物が挟まった	電源プラグを抜き、豆ホッパーを取り外します。ホッパー内と、外刃、内刃を調べ、何か異物があれば取り除きます。
	オーバーヒート状態	機器冷却のため30分間動作を停止しています。30分後再度ご使用いただけます。
グラインダーの回転音が通常よりうるさい	異物がつまっている	電源プラグを抜き、豆ホッパーを取り外します。ホッパー内と、外刃、内刃を調べ、何か異物があれば取り除きます。
特定のタイプの豆を挽くと粉詰まりを起こす	深煎りで油分の多い豆の場合、コーヒー粉出口が詰まりやすくなることもある	電源プラグを抜き、豆ホッパーを取り外します。柔らかい小さめのブラシを使用して、コーヒー粉出口を清掃します。詰まりがなかなか解消しない場合はグラインダー専用の洗浄タブレットをお試ください。
コーヒー粉コンテナがあふれて粉が逆流し出口が詰まってしまう	グラインダー詰まり	電源プラグを抜き、豆ホッパーを取り外します。柔らかい小さめのブラシを使用してコーヒー粉出口を清掃します。

# Troubleshooting

## トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解決方法
グラインダーは動いているがコーヒー粉が出てこない	豆ホッパー底部のトラップドアが開いていない	電源コードを抜き、豆ホッパーを取り外します。豆ホッパー底部を確認しトラップドアの部分にコーヒー豆が挟まっていないか確認します。
	コーヒー粉出口が詰まっている	電源コードを抜き、豆ホッパーを取り外します。柔らかい小さめのブラシを使用して、コーヒー粉出口を清掃します。
	豆がスムーズに落ちていかない	油分の多い豆は豆同士がくっついてしまうことがあります。ホッパーのフタを開け木製のスプーンなどで豆をかき混ぜてくっつきを解消し、フタをして再度グラインディングをお試しください。もし症状が解消しない場合は電源コードを抜き、豆ホッパーを取り外して完全に空にしたのち内部を水拭きするか、洗剤を使用しぬるま湯で洗い流します。完全に乾かしてから再度豆を補充します。 (※刃の部分は絶対に濡らさないようご注意ください)
	外刃のロックが不完全	外刃のハンドルを時計回りに回転させ、定位置にしっかりとまっているかどうか確認します。正しい位置にロックされるとカチッという音がします。
普段より静電気がひどい	コーヒー豆の種類や焙煎の度合、大気中の湿度などさまざまな要因から静電気が発生	本体と各部の表面を柔らかな布で水拭きし、完全に乾かします。グラインディング後、コーヒー粉コンテナをすぐには取り出さず30秒ほど静置しておくのも静電気を消散させるのに有効です。
	コーヒー粉コンテナが粉出口の下の正しい位置にセットされていない	ベース部にコーヒー粉などの汚れがないことを確認し、コーヒー粉コンテナが粉出口の真下になるようセットします。
	電源プラグから出ているアース線が、コンセントのアースに接続されていない	アースが接続されていない場合、静電気の消散効果が半減します。なるべくアースを接続してご使用ください。

# Our Guarantee

## 仕様／保証／登録／お問い合わせ先

### 仕様

型番および品名	8717000 タイマー式コーヒーグラインダー
定格電圧	100V
定格消費電力	100W
定格周波数	50/60Hz
外形寸法	幅135×奥行195×高さ330 mm
重量	2 kg
豆ホッパー容量	340 g
原産国	中国

### 保証

<保証書>

製品名	タイマー式コーヒーグラインダー
保証期間	購入日より2年間
販売店 (店舗名／住所／ 電話番号)	
ご購入日	年 月 日

### <保証規定>

OXOではご購入日から2年間の保証期間を設けております(対象:材質や製造上の欠陥)。本保証は日本国内においてのみ有効です。

本取扱説明書に沿った正常なご使用状況において欠陥が確認された場合、部品や製品本体の交換、必要な修理作業費などの費用をすべて保証します。必要に応じて、修理ではなく新品交換とさせていただく場合があります。本保証下でOXOの責務は上記の修理や交換に限られます。

保証を受ける際には、ご購入日がわかるレシートまたは納品書が必要となりますので、本取扱説明書とあわせて、必ず大切に保管してください。

ただし、お客様による誤用、乱用、事故および不当な修理や改造、正規品以外の付属品を使用したことによる破損、さらに火災、地震、水害、落雷などの自然災害、その他弊社の責に基づかない要因により生じた故障および破損についても一切の責任を負いません。また、認証外の第三者/OXO提供外の部品による修理の試みが行われた場合は本保証は無効となります。本製品はご家庭でのご使用に限ります。業務にてご使用された際、本保証は無効となりますのでご注意ください。

保証期間が終了しても修理は承ります。(費用はお客様のご負担となります)

ご質問、修理依頼、保証については輸入代理店 株式会社コントラストまでご連絡ください。

保証期間内に製品のトラブルが生じた場合は販売店へ返品されるのではなく、株式会社コントラストにご連絡ください。

## 登録

OXOウェブサイトでおお客様の製品登録をされることをおすすめします。(http://www.oxojapan.com/registration)

※製品登録をされなくても保証は有効です。また、製品登録をされている場合でも、保証を受ける際には、購入時のレシートは必要になりますのでご注意ください。

## お問い合わせ先

輸入代理店

株式会社コントラスト

〒142-0041東京都品川区戸越5-14-17-201

TEL 03-3783-8899

info@contrasto.jp

**Better brewing.  
Better coffee. Better day.**

©2019  
OXO International Ltd.  
1 Helen of Troy Plaza  
El Paso, TX 79912  
Printed in China  
IB-8710100-00

